

標準画面
トレンドグラフ表示

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴	4
1. 概要	5
1.1 標準画面サンプルの流用方法について	5
2. システム構成	5
3. GOT について	5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション	5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定	5
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定	6
4. 画面仕様	6
4.1 表示言語	6
4.2 画面一覧・遷移	6
4.3 画面説明	7
4.3.1 トレンドグラフ表示 1 (B-30001)	7
4.3.2 トレンドグラフ表示 2 (B-30002)	9
4.3.3 トレンドグラフ表示 3 (B-30003)	11
4.3.4 トレンドグラフ表示 4 (B-30004)	13
4.3.5 トレンドグラフ表示 5 (B-30005)	15
4.3.6 トレンドグラフ表示 6 (B-30006)	16
4.3.7 トレンドグラフ表示 7 (B-30007)	17
4.4 使用デバイス一覧	18
4.5 コメント一覧	18
4.6 スクリプト一覧	19
5. テンプレート	20

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2014/6	BCN-P5999-0303	初版

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2014/6	Trend-Graph_V_Ver1_J. GTX	1.117X	初版

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

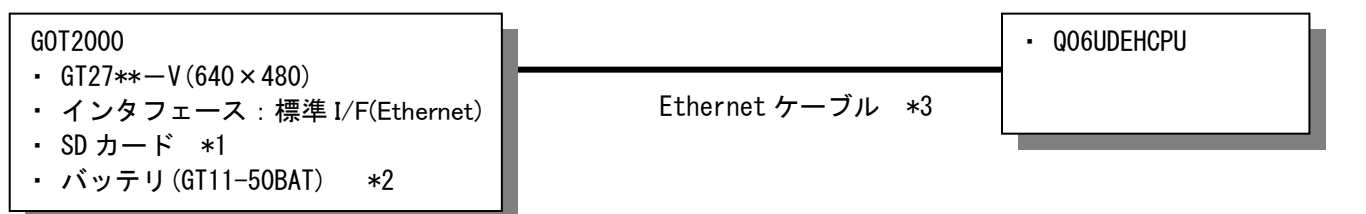
1. 概要

GOT2000 と MELSEC-Q シリーズシーケンサ (Q06UDEHCPU) を Ethernet で接続し、ロギング機能で収集した値をトレンドグラフで表示するサンプル画面の説明書です。

1.1 標準画面サンプルの流用方法について

標準画面サンプルでは、お客様の使用目的に応じた画面を複数パターン用意しています。各画面は、作画ソフトウェアの[流用作成(画面)]を使用して、お客様の画面データへ流用してください。[流用作成(画面)]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

2. システム構成



*1: SDカードは、ロギング機能で使用しています。

*2: バッテリは、時計データおよびSRAMユーザ領域のロギングデータの停電保持に使用しています。(バッテリはGOT本体に標準装備しています。)

*3: ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(三菱電機機器接続編)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント	日本語	
通信ドライバ	Ethernet 接続	Ethernet (MELSEC), Q17nNC, CRnD-700, ゲートウェイ	
拡張機能	標準フォント	中国語(簡体)	
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国(簡体)漢字

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

詳細設定

項目	設定値	備考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT 標準 Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数(回)	3	
立ち上がり時間(秒)	3	
通信タイムアウト時間(秒)	3	
送信ディレイ時間(ms)	0	

GOT 標準 Ethernet 設定

項目	設定値	備考
GOT 標準 Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	QnUD (P) V/QnUDEH	192. 168. 3. 39	5006	UDP

4. 画面仕様

4.1 表示言語

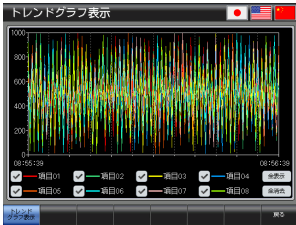
画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 351~357 の列 No. 1~3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

4.2 画面一覧・遷移



ベース画面 B-30001：トレンドグラフ 1



ベース画面 B-30005：トレンドグラフ 5



ベース画面 B-30002：トレンドグラフ 2



ベース画面 B-30006：トレンドグラフ 6



ベース画面 B-30003：トレンドグラフ 3



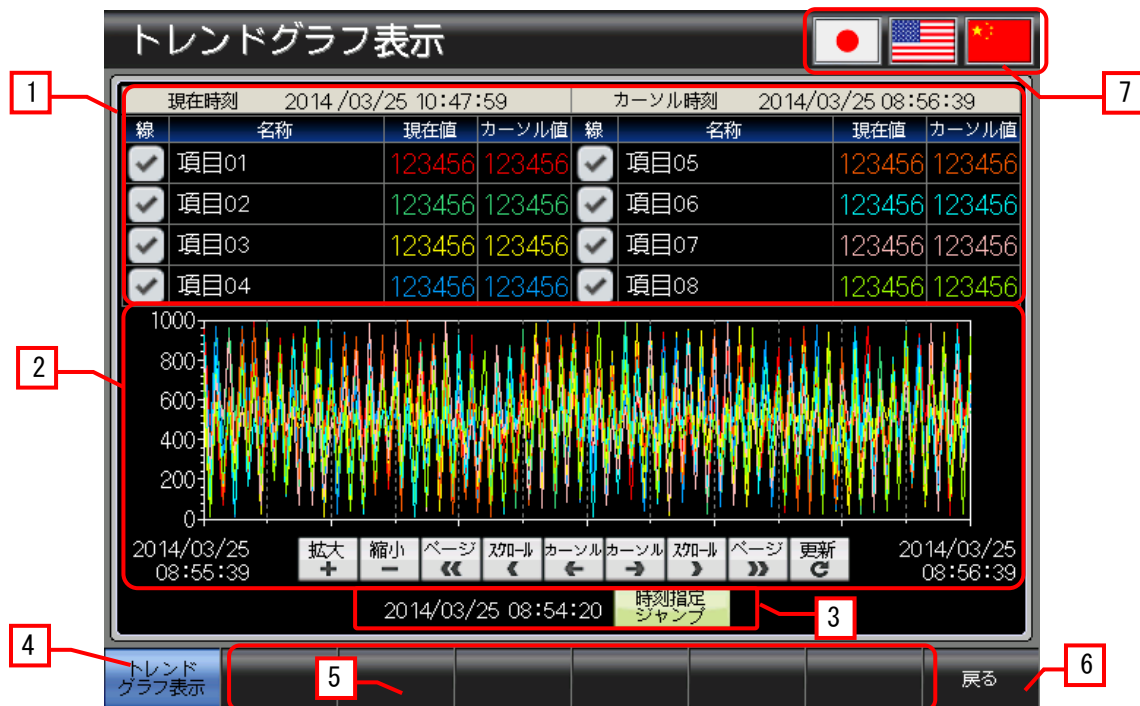
ベース画面 B-30007：トレンドグラフ 7



ベース画面 B-30004：トレンドグラフ 4

4.3 画面説明

4.3.1 トレンドグラフ表示 1 (B-30001)



概要

ロギング機能で収集した値を数値やヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

- 現在時刻とグラフ上のカーソル位置の時刻、各ロギング対象の現在値とグラフ上のカーソル位置の値を表示します。
☒ : 各項目のグラフ線を表示/消去します。
- ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
 グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
 拡大 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2倍)表示します。
 縮小 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2倍)表示します。
 ページ<< : ページを左にスクロール表示します。
 スクロール< : グラフを左にスクロール表示します。
 カーソル< : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。
 カーソル> : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 スクロール> : グラフを右にスクロール表示します。
 ページ>> : ページを右にスクロール表示します。
 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
- 日時を入力し、時刻指定ジャンプスイッチをタッチすると指定した日時をグラフの中央に表示します。画面初回表示時には日時に現在日時を格納します。
- 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 言語を切り換えます。

備考

- ・ ヒストリカルトレンドグラフの参照先ログイン ID は「30001」です。
- ・ ヒストリカルトレンドグラフの時刻指定ジャンプ用に画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「4.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ 7 のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.2 トレンドグラフ表示 2 (B-30002)



概要

ロギング機能で収集した値を数値やヒストリカルトレンドグラフ、ヒストリカルデータリスト表示で表示します。

詳細

- 現在時刻とグラフ上のカーソル位置の時刻、各ロギング対象の現在値とグラフ上のカーソル位置の値を表示します。
☒ : 各項目のグラフ線を表示/消去します。
- ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
 グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
 拡大 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2倍)表示します。
 縮小 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2倍)表示します。
 カーソル← : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。
 カーソル→ : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 スクロール< : グラフを左にスクロール表示します。
 スクロール> : グラフを右にスクロール表示します。
 ページ<< : ページを左にスクロール表示します。
 ページ>> : ページを右にスクロール表示します。
 リストジャンプ : グラフのカーソル時刻と同じ時刻位置にリストのカーソルを表示します。
 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
- ロギング機能で収集した値をヒストリカルデータリストで表示します。
 リスト上をタッチすると、カーソルを表示します。リスト上をタッチした状態で上下にフリックすると表示内容が上下にスクロール表示します。
 TOP : リストの最上端に移動します。
 カーソル↑ : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 スクロール^ : リストを上スクロール表示します。
 ページ^ : リストが表示されている行数分を上移動します。
 END : リストの最下端に移動します。
 カーソル↓ : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。

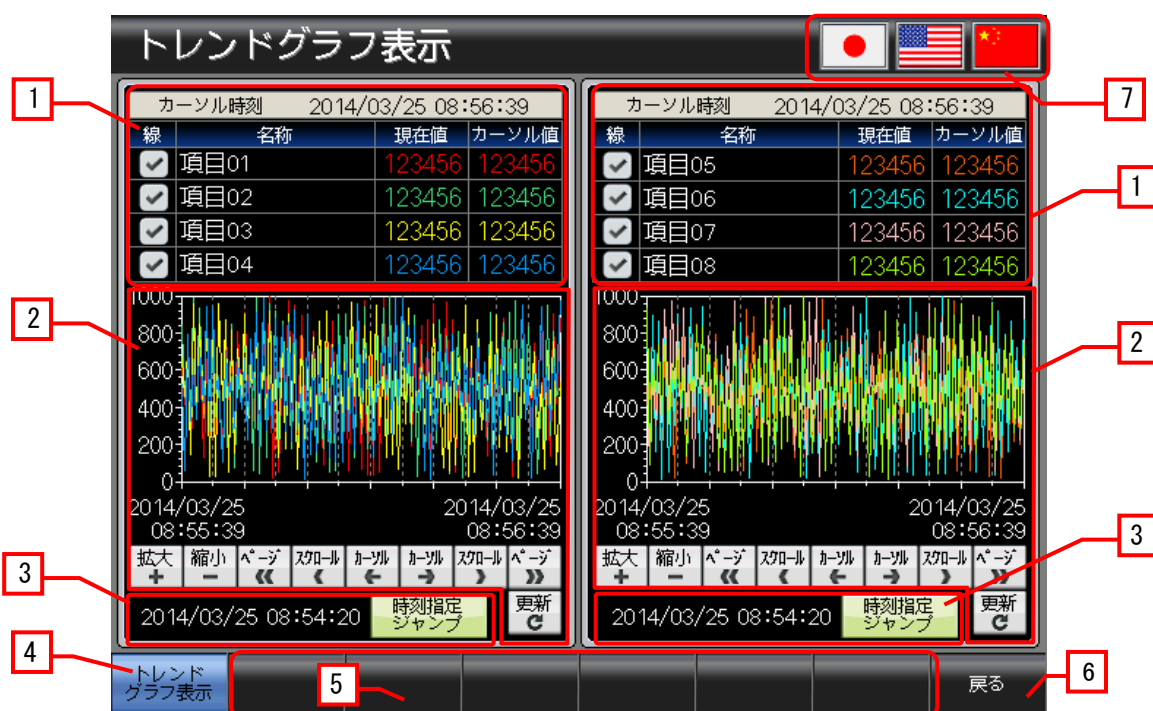
スクロール▽ : リストを下にスクロール表示します。
ページ▽ : リストが表示されている行数分を下に移動します。
グラフジャンプ : リストのカーソル時刻と同じ時刻位置にグラフのカーソルを表示します。
更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。

4. 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 言語を切り換えます。

備考

- ・ ヒストリカルトレンドグラフとヒストリカルデータリストの参照先ログイン ID は「30001」です。
- ・ スwitchの動作対象を識別するために 2 と 3 のグラフとスイッチにユーザ ID を設定しています。
- ・ 7 のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.3 トレンドグラフ表示 3 (B-30003)



概要

2つの異なる設定のロギング機能で収集した値を設定別に数値やヒストリカルトレンドグラフで表示します。

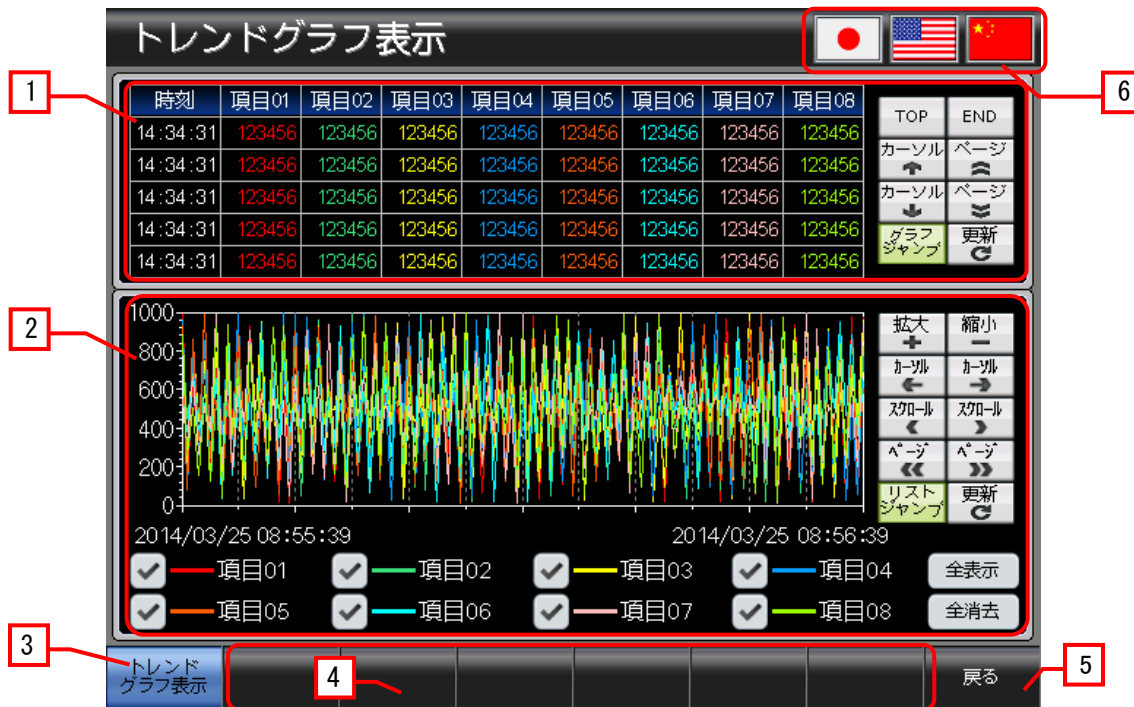
詳細

1. グラフ上のカーソル位置の時刻、各ロギング対象の現在値とグラフ上のカーソル位置の値を表示します。
☒ : 各項目のグラフ線を表示/消去します。
2. ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
 グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
 拡大 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2倍)表示します。
 縮小 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2倍)表示します。
 ページ<< : ページを左にスクロール表示します。
 スクロール< : グラフを左にスクロール表示します。
 カーソル< : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。
 カーソル> : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 スクロール> : グラフを右にスクロール表示します。
 ページ>> : ページを右にスクロール表示します。
 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
3. 日時を入力し、時刻指定ジャンプスイッチをタッチすると指定した日時を2のグラフの中央に表示します。画面初回表示時には日時に現在日時を格納します。
4. 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 言語を切り換えます。

備考

- ・ 各ヒストリカルトレンドグラフの参照先ログイン ID は「30001 (画面左側)」、「30002 (画面右側)」です。
- ・ スイッチの動作対象を識別するために 2 のグラフとスイッチにユーザ ID を設定しています。
- ・ 2 のヒストリカルトレンドグラフの時刻指定ジャンプ用に画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「4.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ・ 7 のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.4 トレンドグラフ表示 4(B-30004)



概要

ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフ、ヒストリカルデータリスト表示で表示します。

詳細

- ロギング機能で収集した値をヒストリカルデータリストで表示します。
リスト上をタッチすると、カーソルを表示します。リスト上をタッチした状態で上下にフリックすると表示内容が上下にスクロール表示します。
 TOP : リストの最上端に移動します。
 END : リストの最下端に移動します。
 カーソル↑ : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 カーソル↓ : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。
 ページ⤴ : リストが表示されている行数分を上に移動します。
 ページ⤵ : リストが表示されている行数分を下に移動します。
 グラフジャンプ : リストのカーソル時刻と同じ時刻位置にグラフのカーソルを表示します。
 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
- ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
 グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
 拡大 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2倍)表示します。
 縮小 : グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2倍)表示します。
 カーソル← : カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方にスクロール表示します。
 カーソル→ : カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方にスクロール表示します。
 スクロール< : グラフを左にスクロール表示します。
 スクロール> : グラフを右にスクロール表示します。
 ページ<< : ページを左にスクロール表示します。
 ページ>> : ページを右にスクロール表示します。
 リストジャンプ : グラフのカーソル時刻と同じ時刻位置にリストのカーソルを表示します。
 更新 : カーソルを消去し、最新のデータを表示します。
☒ : 各項目のグラフ線を表示/消去します。

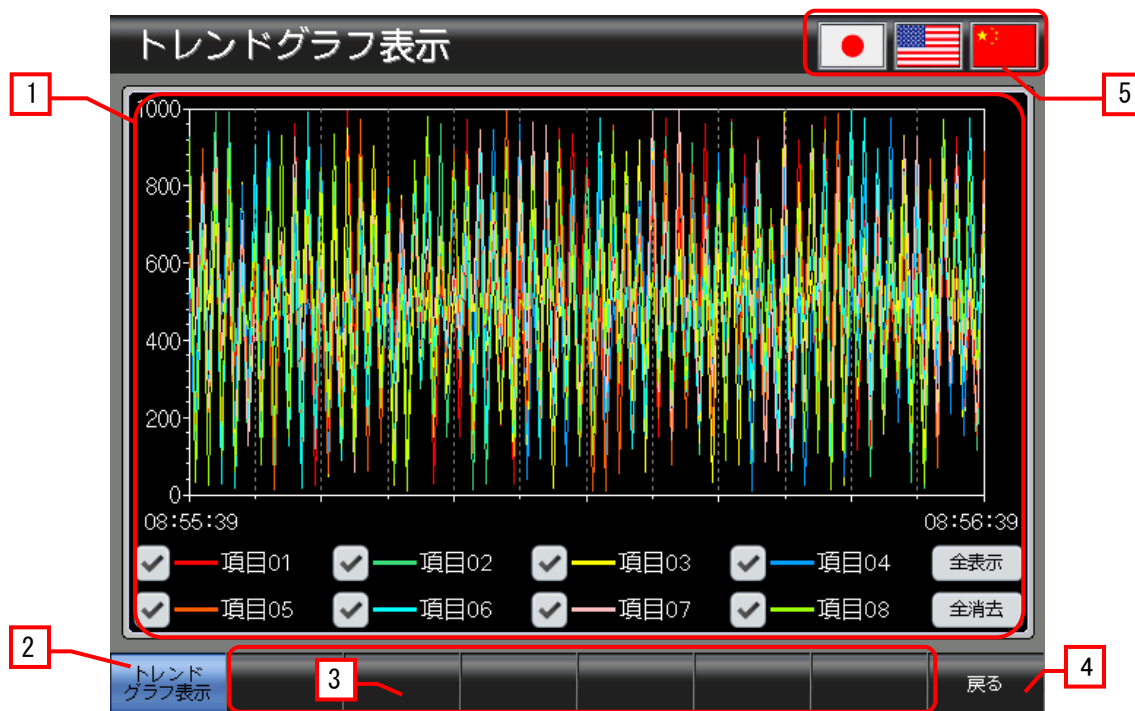
全表示 : 全てのグラフ線を表示します。
全消去 : 全てのグラフ線を消去します。

3. 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 言語を切り換えます。

備考

- ・ ヒストリカルトレンドグラフとヒストリカルデータリストの参照先ログイン ID は「30001」です。
- ・ スwitchの動作対象を識別するために 1 と 2 のリスト、グラフ、スウィッチにユーザ ID を設定しています。
- ・ 6 のスウィッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.5 トレンドグラフ表示 5 (B-30005)



概要

ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。

詳細

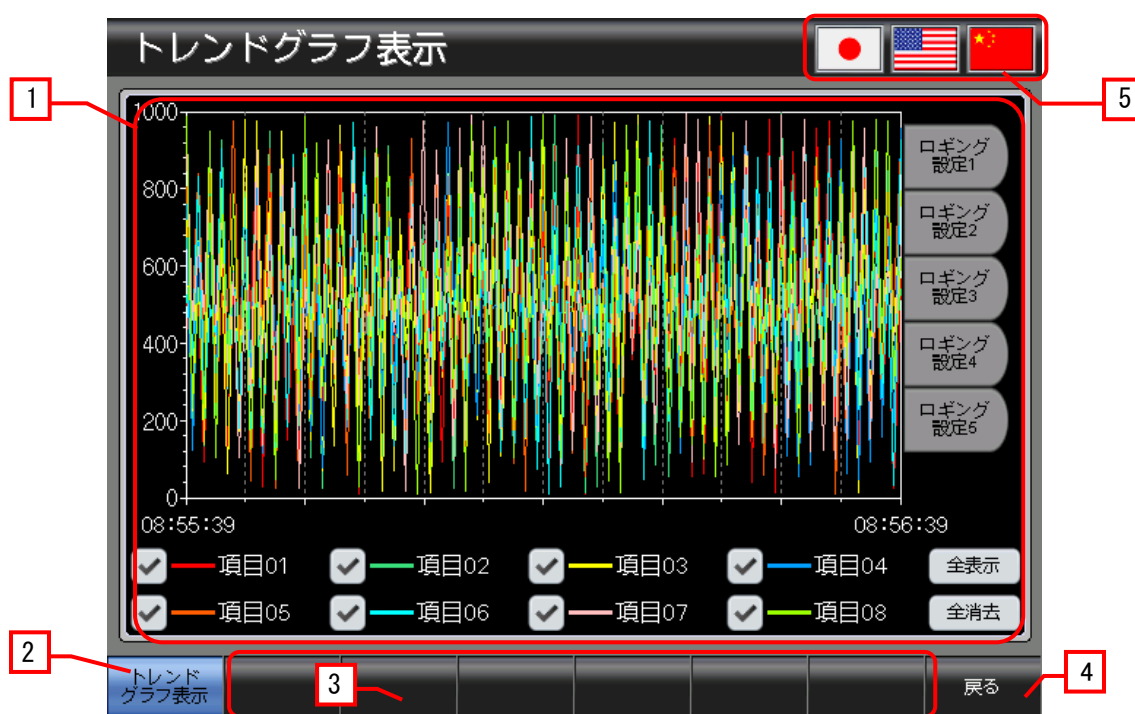
- ロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。再度グラフをタッチすると最新のデータを表示します。

<input checked="" type="checkbox"/>	: 各項目のグラフ線を表示/消去します。
全表示	: 全てのグラフ線を表示します。
全消去	: 全てのグラフ線を消去します。
- 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 言語を切り換えます。

備考

- 1のグラフにはグラフを更新するタッチスイッチを重ねて配置しています。
- ヒストリカルトレンドグラフの参照先ロギング ID は「30001」です。
- 5のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.6 トレンドグラフ表示 6 (B-30006)



概要

ロギング設定 1～5 のロギング機能で収集した値をヒストリカルトレンドグラフで切り換え表示します。

詳細

- 5つの異なる設定のロギング機能で収集した値をロギング 1～5 で指定したロギング設定に切り換えてヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。再度グラフをタッチすると最新のデータを表示します。
 - ロギング 1 : ロギング ID「30001」のロギング機能で収集した値をグラフに表示します。
 - ロギング 2 : ロギング ID「30002」のロギング機能で収集した値をグラフに表示します。
 - ロギング 3 : ロギング ID「30003」のロギング機能で収集した値をグラフに表示します。
 - ロギング 4 : ロギング ID「30004」のロギング機能で収集した値をグラフに表示します。
 - ロギング 5 : ロギング ID「30005」のロギング機能で収集した値をグラフに表示します。
 - ☒ : 各項目のグラフ線を表示/消去します。
 - 全表示 : 全てのグラフ線を表示します。
 - 全消去 : 全てのグラフ線を消去します。
- 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 言語を切り換えます。

備考

- 1のグラフにはグラフを更新するタッチスイッチを重ねて配置しています。
- ヒストリカルトレンドグラフの参照先ロギング ID は「30001」～「30005」です。
- ヒストリカルトレンドグラフ用に画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「4.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- 5のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.3.7 トレンドグラフ表示 7(B-30007)



概要

ロギング機能で収集した値の中からグラフオフセット 1～5 で指定したロギング対象の値をヒストリカルトレンドグラフで切り換え表示します。

詳細

- ロギング機能で収集したロギング対象 (40 点) の値の中からグラフオフセット 1～5 で指定した連続 8 点のロギング対象の値を、ヒストリカルトレンドグラフで表示します。グラフの下に表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
 グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。再度グラフをタッチすると最新のデータを表示します。
 グラフオフセット 1 : 1～8 点目までのロギング対象の値をグラフに表示します。
 グラフオフセット 2 : 9～16 点目までのロギング対象の値をグラフに表示します。
 グラフオフセット 3 : 17～24 点目までのロギング対象の値をグラフに表示します。
 グラフオフセット 4 : 25～32 点目までのロギング対象の値をグラフに表示します。
 グラフオフセット 5 : 33～40 点目までのロギング対象の値をグラフに表示します。
☒ : 各項目のグラフ線を表示/非表示します。
 全表示 : 全てのグラフ線を表示します。
 全消去 : 全てのグラフ線を消去します。
- 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 言語を切り換えます。

備考

- 1 のグラフにはグラフを更新するタッチスイッチを重ねて配置しています。
- ヒストリカルトレンドグラフの参照先ロギング ID は「30006」です。
- 5 のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

4.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	未使用	
ワード	D0～D39	ロギング用
	D100～D139	ロギング用

4.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ (常時 ON)
	GB61001～GB61008	ヒストリカルトレンドグラフ グラフ線消去
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD61001～GD61008	カーソル位置デバイス
	GD61021～GD61024	ヒストリカルトレンドグラフ カーソル位置時刻 ヒストリカルデータリスト 表示位置時刻指定
	GD61025～GD61028	ヒストリカルトレンドグラフ 表示開始位置時刻
	GD61029～GD61032	ヒストリカルトレンドグラフ 表示終了位置時刻
	GD61033～GD61035	ヒストリカルトレンドグラフ 表示位置時刻指定 ヒストリカルデータリスト カーソル位置時刻
	GD61041～GD61044	ヒストリカルトレンドグラフ カーソル位置時刻
	GD61045～GD61048	ヒストリカルトレンドグラフ 表示開始位置時刻
	GD61049～GD61052	ヒストリカルトレンドグラフ 表示終了位置時刻
	GD61053～GD61055	ヒストリカルトレンドグラフ 表示位置時刻指定
	GD61060	ヒストリカルトレンドグラフ グラフオフセット
	GD61070	ヒストリカルトレンドグラフ ロギング ID 格納
	GS650～GS652	現在時刻

4.5 コメント一覧

コメントグループ No.	使用箇所
351	B-30001
352	B-30002
353	B-30003
354	B-30004
355	B-30005
356	B-30006
357	B-30007

4.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	無し
画面スクリプト	B-30001、B-30003、B-30006
オブジェクトスクリプト	無し

4.6.1 画面スクリプト

ベース画面 30001、30003

スクリプト No.	30001	スクリプト名	Script30001
コメント	現在時刻取得 1		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//画面表示時に年月日時分秒を格納 [w:GD61033]=[w:GS650]; [w:GD61034]=[w:GS651]; [w:GD61035]=[w:GS652];			

ベース画面 30003

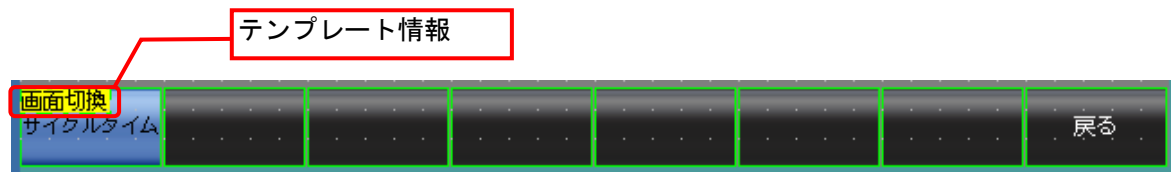
スクリプト No.	30002	スクリプト名	Script30002
コメント	現在時刻取得 2		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//画面表示時に年月日時分秒を格納 [w:GD61053]=[w:GS650]; [w:GD61054]=[w:GS651]; [w:GD61055]=[w:GS652];			

ベース画面 30006

スクリプト No.	30003	スクリプト名	Script30003
コメント	ログイン ID 設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
//画面表示時にログイン ID を格納 [w:GD61070]=30001;			

5. テンプレート

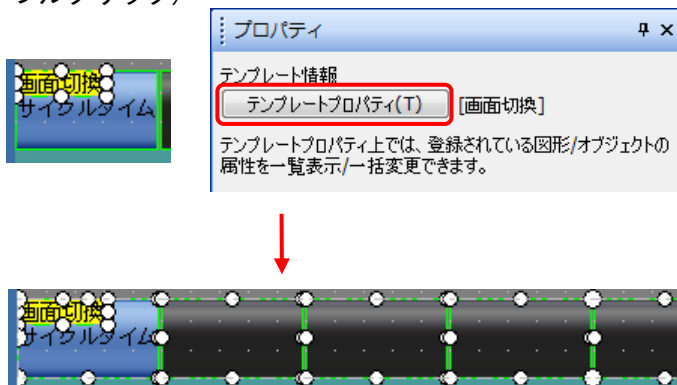
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

例：スイッチ(各画面)の図形色を変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]をダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

- (2) [スイッチ(各画面)_図形色]の[設定値]をダブルクリックして、変更したい色を選択

